

校長室だより **春日** (しゅんじつ)

校長 清武 直人

山本五十六

太平洋戦争で連合艦隊司令長官を務めた山本五十六のこの言葉は、結構有名です。

やってみせ
言ってみせて
させてみせ
ほめてやらねば 人は育たじ

人を育てる極意です。
運動会の練習風景は、まさに山本五十六

の名言そのもの。ダンスにしても、組み体操にしても、まず先生が「やってみせて」子どもたちに「言ってみせて」それから「させてみて」「ほめて」いるんです。

時には叱ることもありますが、我が校の指導の基本は概ね「山本五十六」型です。

子どもたちが育っています。どうぞ、あさつての運動会をお楽しみに！

たそがれ清兵衛

10年ほど前の映画です。ご覧になりましたか。

妻に先立たれ、幼い女の子二人と認知症の始まった母親の面倒を見る下級武士の清兵衛。貧しくとも自分の人生を不幸とも思わず、誠実に生きる清兵衛。

ああ、いい映画だった。今でも心に残っているあの場面！

清兵衛が仕事から帰ってきて内職仕事をしている傍らで、上の娘がこう尋ねた。「おとう、針さ習えば浴衣もできるし着物も縫える。だども、学問すれば何になる。」

おお、なんと鋭い質問。教育者として一瞬どう答えようかと思ったその時、清兵衛が答えた。

「学問をすれば、どんなに世の中が変わろうとも、自分の頭で物事を考えることができるのだ。学問に励めよ。」

ううう、何度思い返してもしびれるこの言葉！

**たそがれ校長**

「校長！字さ習えば本も読めるし新聞も読める。だども、運動会の組み体操してなんになる。」

「組み体操をすれば、どんなに世の中が変わろうとも……。」

いやいや、それでは答えになっていない。炎天下、黙々と練習を繰り返し、組み体操の精度を高めていく6年生の姿を見ながら自問自答した。そして、その答えを6年1組の江藤さんの三行日記に見いだした。

江藤さんの三行日記

「今日、体育の学習で「ピラミッド」の役割決めを行いました。私は、自らきつい役に立候補しました。見る人からは、私の顔が見えないからといって気をぬかず、そこが一番きつい場所なので、しっかりみんなを支えていけるように頑張ります。」

私は、江藤さんの日記から「組み体操をすること」の一つの答えを見つけたことができました。

人は、人と人との関係の中で生きていきます。その中で、自分はどうのどのような役割を果たすことができるのか、そんなことを考えさせる力がありそうです。

組み体操に限らず、運動会は社会で生きる大切なことを教えてくれます。そして、やり遂げた自信と感動も。

「あさつて、天気にな～あれ！！」